



となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



6/30(月) 下地中台湾国際交流記念

台湾給食メニュー①

30(月) 下地中台湾交流記念給食														
こんだて														
	<table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>C</td> <td>727</td> <td>P</td> <td>30.6</td> <td>F</td> <td>29.5</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>C</td> <td>903</td> <td>P</td> <td>38.1</td> <td>F</td> <td>36.4</td> </tr> </table>	小学校	C	727	P	30.6	F	29.5	中学校	C	903	P	38.1	F
小学校	C	727	P	30.6	F	29.5								
中学校	C	903	P	38.1	F	36.4								



私が取材に訪れた2年A組も笑顔で溢れていました(画像の通り)。給食の感想についても取材しましたので、紹介いたします。

6/30(月)の給食は、下地中台湾国際交流に因んだ記念給食が提供されました(今回、羽地芳子さんは小学校に招待されていたので、マスコミ取材はありませんでした)。メニューは始めの画像の通りです。

本年度1回目(昨年度からの通算は3回目)の提供となります。下地調理場学校栄養職員の武井絵理さん、ありがとうございます。

☆僕が台湾メニューの給食を食べて思ったことは、サンペイジーがとても美味しかったです。下地中に来て初めて食べたので、他の台湾料理を知りたくなり、台湾交流に行ってみたくなりました。



【川満 勇希】

☆サンペイジーは、台湾の生姜焼きみたいな感じで、ツイブータンは、切り干し大根の入った厚焼き卵で、シエンタンユエンは、白玉の入ったあっさり味の汁物でした。どれもとても美味しかったです。これからも台湾の料理を給食で食べたり、自分で調べたりしてみたいです。

【羽地 愛美】

学級紹介② 1年B組

学級紹介第2回は、1年B組です。担任は砂川絢音先生です。

【学級目標】

- ◎明るく積極的に挑戦し、
支え合える元気なクラス
- ①学級の良さ・強み→仲がいい、元気、協力して頑張ることができる
- ②学級の課題→授業と休み時間の切り替え
- ③課題への対応策→時間を見て行動する、みんなで声をかけ合う
- ④学級のおもしろエピソード→プールの授業が楽しみすぎて、昼休みの始まり(授業20分前)に玄関前に集合していたこと(中には水着に着替えてゴーグルもしていた生徒もいたり……)。
- ⑤担任から「となん」読者に向けたメッセージ→毎日元気いっぱい、困ったときは協力して解決策を考え、行動できるすてきなクラスです。1Bと過ごす毎日とはとても楽しいです!



【お知らせ】

☆6/29(日)は「下地小中PTA親睦ソフトバレー大会」が本校体育館で開催されました。親睦とは名ばかりで1点を争う好ゲームが展開されたそうです。結果、優勝は「中学校3年」準優勝は「中学校1年」でした!



宮古島の戦争劇で伝える

劇団員と一般参加者が共演

【宮古島】「戦雲の目」の3日、宮古島のマユメ女市民劇場で開かれた市主催戦争追悼式・平和記念式(主催・市、市教育委員会、市戦没者遺族会)の第2部で、戦後80年に合わせた戦争劇「知られざる沖縄戦〜宮古島の戦争の話」が上演された。宮古島の戦争の実相を、沖縄本島の劇団チーム・スポーツ・シヤンタル(以下「チームさくら」)が演じた。(宮古島高・昔山学)

戦後80年



宮古島の沖縄戦を描いた戦争劇「空襲やマラリア 悲慘な実相 観客は涙」

空襲やマラリア 悲慘な実相 観客は涙

飛行場建設のために土地を没収された住民や、宮古島「みやま」くまのの使用を禁止された住民軍の労働に駆り出されながらも、本島への就職を夢見る女性などが登場。空襲やマラリアに遭った人、飢餓やマラリアで亡くなった人、地上戦がなかった宮古島で起こった戦争を伝えた。

ラストシーンで母親をマラリアで亡くした「ミコ」を演じた西里こはるさんは「環境に失礼がないように演じた」と語り、「戦争は体験してないけれど想像はできる。ミコの感情、思いをばか戦争はそれでは足りないものだ。これからも思い返しつづけて」と振り返った。

最前列で見つけた年代の女性は「宮古島でのような劇を見る」とがなかった。改めて戦争の恐ろしき、悲愴さが伝わって、引き込まれたと涙を浮かべ、「平和が子々孫々いつまでも続いてほしい」と話していた。



宮古島での沖縄戦を描いた戦争劇